

エブリー - AT 学習制御について 1

- 適応車種: エブリー (DA52V/DB52V/DA52W)
- 適応エンジン: F6A-ターボ (4AT)
- 適応年式: 平成 11 年 11 月～平成 13 年 9 月

- 適応車種: エブリー (DA62V/DA62W)
- 適応エンジン: K6A-ターボ (4AT)
- 適応年式: 平成 13 年 9 月～平成 15 年 9 月

上記車種の AT コンピュータには、車にあった最適な変速条件を設定する為、学習制御が採用されています。

AT コンピュータ交換時には以下に記載する学習要領を実行することで AT コンピュータに学習させる必要があります。

また、**トランスミッション Assy 交換時**には AT コンピュータの学習値をリセットする必要があります。

以下に、学習要領、学習値のリセット要領を記載しますので、参考にしてください。

尚、上記車種は故障診断機による学習、リセット機能が搭載されていない為、故障診断機による学習、リセットは実行できません。

学習要領

1. エンジンを始動して下さい。
2. エンジンを始動後、シフトレバーを『Pレンジ』→『Rレンジ』→『Nレンジ』→『Rレンジ』→『Nレンジ』→『Dレンジ』の順にシフトして下さい。
3. 2の操作を3回～5回繰り返し実行して下さい。
4. ゆっくりとした運転(アクセル開度:約15%)で走行しながら、シフトレバーを『1レンジ』→『2レンジ』→『3レンジ』→『2レンジ』→『1レンジ』の順にシフトして下さい。
更にこのシフト操作を12回～15回繰り返し実行して下さい。

5. 通常の運転(アクセル開度:約25%)で走行しながら、シフトレバーを『1レンジ』→『2レンジ』→『3レンジ』→『2レンジ』→『1レンジ』の順にシフトして下さい。
更にこのシフト操作を12回～15回繰り返し実行して下さい。

6. 急加速運転(アクセル開度:約50%)で走行しながら、シフトレバーを『1レンジ』→『2レンジ』→『3レンジ』→『2レンジ』→『1レンジ』の順にシフトして下さい。
更にこのシフト操作を12回～15回繰り返し実行して下さい。

7. 4、5、6の作業終了後、そのまま300m 以上走行して下さい。

8. 学習が完了します。

学習値のリセット要領

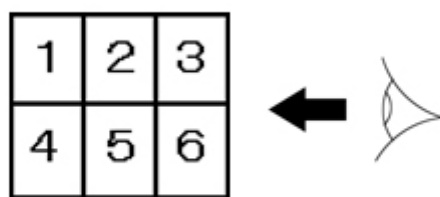
1. IG SW を ON(エンジン停止)にして下さい。

2. O/D SW を ON にしてコンビネーションメータ内の O/D OFF ランプを消灯させて下さい。

3. ダイアグカプラの2番端子と4番端子間を接続し、10 秒以内に『D レンジ』→『2レンジ』へのシフト操作を3回繰り返し行なって下さい。

※注意※

ダイアグカプラ(青色6極)は運転席インストルメントパネル左下部になります。



〈図:ダイアグカプラ〉

4. 2番端子、4番端子間の接続を外して、IG SW OFF にして下さい。

5. 学習値のリセットが完了します。